

三砂防事務所研修会を開催しました

10月20日（木）「平成23年度 第1回三砂防事務所技術研修会」を姫川砂防事務所の主催で行いました。参加者は砂防課から3名、犀川砂防事務所から4名、土尻川砂防事務所から6名、姫川砂防事務所から6名の総勢19名となりました。

講師は総合地質コンサルタント（株）の方々で、地質の基礎に関する講義をしていただきました。

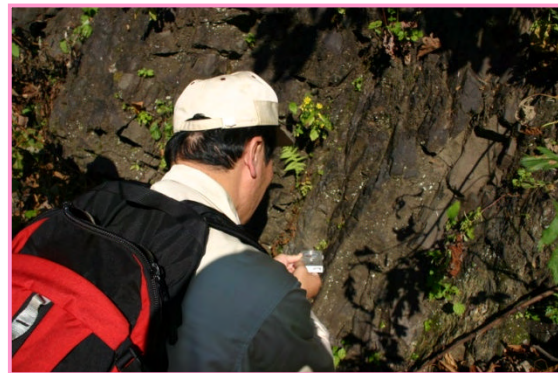
午前中の室内研修では、凡例や地質断面図・地質記号を理解し見ることで「地質図に親しみが持てるようになり興味やおもしろさが抱けるようになる」また「現地の観察から地質のできた原因や過程を推理するおもしろさをマスターしましょう」と説明がありました。

午後の現場研修は、新潟県糸魚川市大所川流域右岸川林道の切り土斜面で、岩盤が露出しその上部に土砂が堆積している現場での斜面スケッチやクリノメータを使った実習に、参加者が熱心に取り組みました。

斜面スケッチは後で解答が示されましたが、観察から推察しスケッチ図を作る難しさを実感しました。



室内研修状況



室外研修状況：クリノメータで地層の走向傾斜を測定

*** . . . *** . . . *** . . . *** . . . *** . . . *** . . . *** . . . *** . . . ***

現場紹介

通常砂防工事
西東原沢 白馬村 野平

白馬村野平地区の現場です。

土石流対策として、高さ 8.0m、堤頂長 48.5m の砂防堰堤を造ります。県内では珍しい INSEM（インセム）工法を採用しています。通常の生コンクリートではなく、現地で採取した土にセメントを混ぜ、層状に敷き均す工法です。

10月19日に試験施工が行われ、堤体盛立てが本格的に始まります。



濁沢で堰堤の土砂を除去



10月13日に北安曇地方事務所林務課から、濁沢上流で土砂の崩落があるとの報告がありました。翌日、所長以下3名で調査を行い、約8,000m³の土砂が堆積していることを確認しました。さいわい、河道閉塞（天然ダム）は発生しておらず、通常の降雨による土石流の発生は低いと判断しました。しかし、局地的豪雨などによる万が一の土砂の流出に備えて、崩落箇所の下流約600mにある11号堰堤と、ワイヤーネット堰堤に堆積している土砂を、合計で約3,200m³除去し、土砂が貯まる場所を確保することとしました。除去作業は10月18日から行われており、11月4日完了の予定です。



<濁沢上流の土砂崩落状況>



<11号堰堤の土砂除去状況>

当所では、11号堰堤の土砂除去が完了するまでの間、水防体制を強化するため、大雨警報で出動する基準を、大雨注意報から出動することとしました。

また、土石流の発生に備えて11号堰堤には土石流の発生を検知するワイヤーセンサー等の機器を設置して、引き続き監視を継続するとともに、関係機関との連携を図ってまいります。



<11号堰堤に設置されている土石流センサー>

所長コーナー

秋から冬へ…



11月の主なイベント

白馬村

11月5日（土）・11月12日（土）

*ウォーキング・ノルディックウォーキングで
秋の岩岳を楽しむ

小谷村

10月15日（土）～11月30日（水）

*おたり新そば祭り

栗・リンゴ・紅葉・里山、そして高山には雪。
日本の四季は素晴らしいですね！！

